

(令和5年1月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>1月の総入荷量は、月下旬に強い冬型の気圧配置となり前年同様に厳しい寒さとなったことから、前年同月並みであった。総取扱金額は、果実で潤沢な入荷で単価安となった品目が多かったことから、4%下回った。今後は降雪の影響が続き、葉菜類、果菜類を中心に品薄高となることが予想される。</p> <p>2月は、近郷野菜では、かぶや丸だいこん等の漬物商材が終盤となり、はたけ菜が最盛期を迎える。果実では、伊予かんや不知火等の中晩柑類が増える。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は6%上回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は19%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は15%上回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は14%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で3%上回り、単価は26%下回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は6%下回った。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は資材費高騰の影響などにより16%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で13%上回り、単価は14%下回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で21%上回り、単価は13%下回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で11%上回ったが、単価は需要が高かったため21%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長だいこん	鹿児島、長崎、徳島を中心に和歌山、神奈川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は寒波による全国的な品薄高のため12%上回った。
西洋にんじん	鹿児島、長崎を中心に愛知、熊本、千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は46%上回った。
【葉菜類】	
はくさい	兵庫、茨城を中心に鹿児島、愛知、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は34%上回った。
キャベツ	愛知を中心に兵庫、滋賀、大阪、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は21%上回った。
ほうれんそう	福岡を中心に京都、茨城、和歌山、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は14%上回った。
レタス	兵庫、徳島、長崎を中心に愛媛、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は5%上回った。
【果菜類】	
きゅうり	宮崎を中心に高知、徳島、滋賀、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は28%上回った。
なす	高知を中心に岡山、徳島から入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は10%上回った。

<p>とまと</p>	<p>熊本を中心に福岡、佐賀、三重、岐阜などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7%上回ったが、単価は月中旬以降入荷量が減少したことから6%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎を中心に高知、鹿児島、韓国、沖縄などからも入荷した。入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は36%上回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)</p>	<p>北海道を中心に鹿児島、長崎からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は高値で推移した前年同月と比較し43%下回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>北海道を中心に兵庫、静岡、長崎、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で5%上回り、単価は36%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡、大分、愛媛、愛知からも入荷した。入荷量は前年同月比で17%上回ったが、単価は競合品目が単価高傾向となったことで需要が高まり28%上回った。
伊予かん	愛媛から入荷した。入荷量は前年同月比で22%下回り、単価は13%上回った。
富士 (サン富士含む)	青森を中心に岩手、秋田、長野からも入荷した。入荷量は前年同月比で32%上回り、単価は17%下回った。
王林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で41%下回ったが、単価は下位等級が多かったため6%下回った。
いちご	福岡、熊本、大分、長崎、佐賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で21%上回り、単価は13%下回った。
アールスメロン	静岡、高知から入荷した。入荷量は前年同月比で28%上回ったが、単価は需要が高かったため13%上回った。